

構想の推進に向けて

1 関係機関の連携強化

- 構想の推進にあたっては、活動の主体である事業者をはじめ、スポーツ団体、経済団体、京都先端科学大学をはじめとする大学・研究機関、市民、行政等が連携して取り組みます。
- 京都府の「スポーツ&ウェルネス構想」と効果的に連携します。



2 構想推進体制の確立

- アウトドアをはじめとするスポーツ活動を促進し、持続可能にしていくため、亀岡市独自のスポーツコミッション(組織・機能)づくりについて検討します。
- 行政においても、関係各課の横断的な連携によって構想を総合的に企画・推進するとともに、構想に対する職員の意識向上を図ります。



3 施策の具体化に向けた取組の推進

- 構想で示す将来目標や施策の方向を施策・計画に展開していくため、施策及び推進体制の実行に向けた取組を継続して進めます。
- 将来目標に向けて、具体的なタイムスケジュールを想定して、特に短期的に取り組むことが必要な施策・計画を重点的に検討します。



概要版

かめおか まるごとスタジアム 構想



スポーツで人生を豊かに！それが亀岡スタイル

私たちのまち亀岡は、保津川をはじめ、緑あふれる山々など、豊かな自然に恵まれています。また、府立京都スタジアムや亀岡運動公園など、「する・みる・ささえる」といったスポーツに触れ合える絶好のフィールドが整っています。

このたび、本市の強みである豊かな自然を最大限に活かし、『スポーツ』という求心力・発信力のあるキーワードをまちづくりのひとつの柱として、単にスポーツ活動の活性化のみならず、心身の健康づくりに寄与し、人々の交流と賑わいを創出し、幸せあふれるわがまち亀岡の創造を目指すため、『かめおかまるごとスタジアム構想』を策定しました。

本構想は、亀岡市全域を『まるごとスタジアム』と称し、『スポーツ』の定義もアウトドアレジャーから競技スポーツといった人生の生きがいとなる「する」活動をはじめ、「みる」「応援する」そして「支える」といった活動まで、ユニークな亀岡スタイルを示しています。

この構想に基づき、スポーツフィールド亀岡を活用し、積極果敢にチャレンジすることによって、スポーツを通じて人生を豊かにし、笑顔があふれるまちの創造に向け、市民の皆さんをはじめ、関係機関の皆さんとともに取組を進めてまいります。



亀岡市長 桂川孝裕



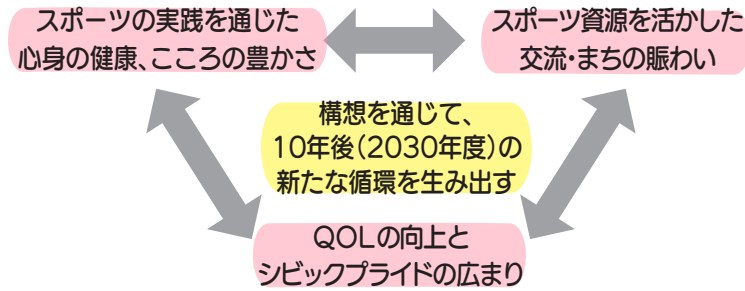
発行 令和4年3月
亀岡市生涯学習部生涯スポーツ課
〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地
電話：0771-22-3131 (代表)
URL：https://www.city.kameoka.kyoto.jp/



本編冊子はこちら

構想策定の目的

亀岡市全域を舞台として、単にスポーツ活動の活性化や競技力の向上にとどまらず、健康や幸せ、来訪者の楽しみ、そして活力あるまちづくりのビジョンを示す。



※QOL・・・クオリティ・オブ・ライフの略称。
「人生が豊かであるということの指標」

亀岡市のスポーツ活動を取りまく状況

- 京都府のほぼ中央にあって、豊かな自然を有している
- 三大観光や雲海、保津川のラフティングなど、自然を体験するアクティビティが集積している
- ウェルカムガーデンやコスモス園、「森のステーションかめおか」など、地域資源にふれあうアクティビティが集積している
- 府立京都スタジアム、亀岡運動公園など社会資本が充実している
- 京都府「京都スタジアムを中核とするスポーツ&ウェルネス構想」
- 国「次期国民健康づくり運動プラン」第3期スポーツ基本計画
- アウトドア、アーバンスポーツやスポーツツーリズムに対するニーズの高まり

計画の視点

- (1) 既存資源の効果的な活用による地域活性化
- (2) アウトドアスポーツマルチ都市としての情報発信
- (3) 構想推進の中核的主体の発見・育成
- (4) 「ささえる」「応援する」人財の育成
- (5) アスリートの育成と市民競技力の向上
- (6) 周辺自治体・施設との連携
- (7) 発展的な取組の検討
- (8) 社会動向等への対応

『かめおかまるとスタジアム構想』

【具体的な目標】

- ① スポーツが人生を楽しく豊かにするものとして定着している
- ② 市民・来訪者が活発にアウトドアスポーツに参加し、幸福を感じている
- ③ スポーツを通じて市民のQOLが向上している

施策展開の方向 ～5つのチャレンジ～



(2) 府立京都スタジアムの活用

- スタジアムがあるまちとして、市民や子どものシビックプライドを育みます
- まちぐるみで『京都サンガF.C.』及び府立京都スタジアムを応援し、新たなビジネスを展開・創出します

【取組目標(例)】

- ▶『京都サンガF.C.』の躍進をチャンスとしたシティプロモーションの展開
- ▶府立京都スタジアムをシビックプライドにつなげるスタジアム体感機会の創出
- ▶府立京都スタジアムや京都サンガF.C.との地域交流活動の創出
- ▶ボルダリング・スポーツクライミングなど施設を活用した取組強化



(1) まるごとスポーツネットワークの推進

- アウトドアスポーツの多様な魅力を高めます
- スポーツツーリズムやマルチアウトドアスポーツの拠点として、関係機関の交流・ネットワークの仕組みや機会を創出・強化します

【取組目標(例)】

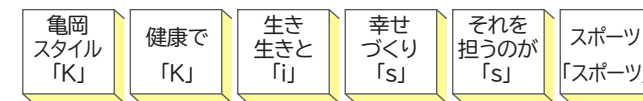
- ▶亀岡ゆかりのアスリートへの積極的支援
- ▶スポーツ・アウトドア関連事業者・大学等との連携
- ▶アウトドアスポーツの活動環境・インフラ基盤整備
- ▶魅力あるスポーツツーリズムの推進
- ▶民間活力によるスポーツ施設・事業の誘致



将来像

スポーツで人生を豊かに!
それが亀岡スタイル

～エンジョイ
「K-Kiss・スポーツ」～



行動指針

K-Kiss・スポーツ
を振興する。

(4) 地域資源を活かしたスポーツ文化の定着

- スポーツ活動が人生を豊かにする楽しいエンターテインメントであることを文化として定着させ、市民とスポーツのよりよい関係をつくり上げます
- 新たなビジター(訪問者)獲得のため、観戦スポーツの誘致と充実を図ります

【取組目標(例)】

- ▶市民のアウトドア体験機会の充実と、スポーツを通じた健康に関する研究、意識啓発
- ▶自然資源を活用したリバーアクティビティ、スカイスポーツの機会創出と魅力を活かしたまちづくりの推進
- ▶地域・市民が一体となった京都サンガF.C.の応援活動の推進とスポーツホスピタリティの涵養
- ▶ボルダリングやeスポーツをはじめ、各種スポーツ競技における大会誘致の推進



(3) まるごとスポーツ情報の発信

- 市民や来訪者による情報の拡散力を高め、総合的・戦略的な情報発信を強化します
- 京都市・南丹地域やJリーグホームタウン自治体と連携し、新たなビジター(訪問者)獲得に向けた情報発信に努めます

【取組目標(例)】

- ▶来訪者が情報発信したくなるスポットやコンテンツづくり
- ▶情報発信におけるデジタルネイティブ世代(学生等)との連携
- ▶「観光×スポーツ」「隣接市×亀岡市」など、訪問のきっかけをつくる連携の推進
- ▶年間40万人の交流人口



(5) ニーズに応じた スポーツ施設・基盤の整備

- ユニバーサル視点で既存スポーツ施設・周辺環境の適切な維持管理と計画的な整備・充実を進めます
- スポーツ施設の機能強化や新設、事業の誘致を進めます

【取組目標(例)】

- ▶府立京都スタジアムとの相乗効果を生み出す環境整備など、京都スタジアムに関連したまちづくりの推進
- ▶既存スポーツ施設及び周辺環境の計画的な維持管理
- ▶トレッキングやサイクリングのコース設定など、ニーズを踏まえたスポーツ機能の整備と事業の誘致
- ▶スケートボードやBMXなどアーバンスポーツも視野に入れ亀岡で萌芽するアスリートの活動の場の整備

